

2022年度 第3回社会包摂デザイン研究会

共生

日時 2023年1月31日(火) 17:30～19:00

会場 ハイブリッド(Zoom / 九州大学大橋キャンパスデザインコモン2階)

言語 日本語(英語は自動翻訳・字幕)

「社会包摂デザイン研究会」では、「社会包摂デザイン」の鍵となる概念に対する多様なアプローチを提示するために、芸術工学研究院に所属する様々な専門分野の教員や外部の実務家、専門家をお呼びし、お話をうかがっています。

今回のテーマは「共生」です。日本社会で暮らす在留外国人は 266 万 9,267 人(出入国在留管理庁「令和 4 年 6 月末現在における在留外国人数について」)。多様な文化的背景、宗教、エスニシティを持つ人々が既に多く生活しているにもかかわらず、収監中のスリランカ人女性が収容中に死亡し、技能実習生に対する不当な差別が横行するなど、その入管政策の問題を浮かび上がらせる問題が次々に判明しています。それでは、私たちは、こうした「受け入れ」のあり方をどのように見直し、共に生きる社会を構想できるのでしょうか。

ロヒンギャ難民のホスト国であるバングラデシュの調査・研究を行ってきた谷正和先生と、芸エインターナショナルオフィスで多くの留学生の相談に応じている下村萌先生が私たちの身近にある事例からお話しし、後半では来場者の方々からの質疑応答を通じて、共に考える時間としたいと思います。

オンラインでの参加もできますので、お気軽にご参加下さい。

講演

谷 正和

(環境設計部門 教授 / 環境人類学)

「Mobility justice」

下村 萌

(人間生活デザイン部門 助教 / デザイン学)

「芸エインターナショナル
オフィスのチャレンジ」

司会

中村 美亜

(未来共生デザイン部門 准教授 / 芸術社会学)

お申し込み先

<https://forms.gle/Xmz2ZetAC1N2Bog18>



主催・問い合わせ先

九州大学大学院芸術工学研究院
社会包摂デザイン・イニシアティブ
didi-office@design.kyushu-u.ac.jp

共催

九州大学大学院芸術工学研究院
芸エインターナショナルオフィス



Design Initiative for
Diversity & Inclusion
社会包摂デザイン・イニシアティブ



International Office
Faculty of Design